

2024年春夏号

想

い

OMOI



婦人公論連携企画 ●特別インタビュー

徳光和夫さん
(フリーアナウンサー)

「八代亜紀さん(演歌歌手)を偲んで」

声に個性があり、にじみ出る味がある。
ワン・アンド・オンリーの
歌手だと思います

お盆飾り
特集

- 仏具のお取り扱い方をご紹介します
- お盆用品購入でプレゼント
- 抽選で豪華賞品が当たるプレゼント
- 三遠地域のお店のご紹介(特典付)



昭和23年創業 お仏壇のたなか
(株) 田中仏具店 グループ

1世帯1冊のお届けになることをご了承ください

～お盆飾りへの想い～

お提灯は必要ですか？お盆は何をお供えますか？

亡くなられた方にとって**初めての**お盆は**ようやく我が家に帰れる特別な日**です。どんなに楽しみにしてきたことでしょう。どんな想いで帰ってみえるのか…。

極楽浄土から娑婆世界の距離は十光光年（光の速度でも一億年の十億倍かかる距離）想像も出来ない程遠くにあると言われております。

ご先祖様がいらっしゃるご家庭の方は団体様御一行

初めてお盆の支度をされるご家庭の方は**“初客様”**をおもてなしする**気持ち**で準備をされてはいかがでしょうか。

初客様は道中道に迷ったり予定より早めに到着出来たりするそうです。

なのでお初盆の方は通常より早めにお仕度を整え、

“ようこそ我が家へ”の想いで賑やかに準備をされます。

お作法を菩提寺様に教えていただくのも大切な繋がりのひとつです。

親戚は来ないから…人は呼ばないから…

誰かに披露するための用意ではなく

“故人様に準備してあげたい”と思う気持ちでお支度できたら…

想いはきっと伝わるのではないかと感じております。

※宗派によりお盆の作法は異なります。



株式会社 田中仏具店
代表取締役社長 田中己喜

～ご寺院様・宮司様をお迎えする際のおもてなし品～

①おしほり お干菓子を召し上がっていただく前にお使いになります。

②穴あき茶托 一般的な茶托より少し高さがあることが特徴です。こちらはご寺院様・宮司様など功德を積まれた方へ対しての敬意を示した茶托です。

③お茶 お勤めの前に喉を潤していただきます。蓋付湯呑がお薦めです。（夏は汚れが入らない様に・冬はお茶が冷めない様にと心遣いが表される湯呑です。）

④お茶菓子 個包装されたものがお薦めです。（お干菓子） その場で召し上がられなくてもお持ち帰りすることが出来ます。

⑤お懐紙 カイン お干菓子の下に敷きます。慶事と弔事で折り方が異なりますがお盆は弔事（左上）になります。



蓋付き湯呑



お懐紙



↑慶事の際

↑弔事の際

会報誌発行について

会報誌“想い”はお仏壇購入のゴールドカードお持ちの方・葬祭部エコー会員様へ1世帯1冊お届けしております。ただし、春夏号に関してはお盆の手引きとしてお初盆を迎えるお客様（位牌注文された方）も追加して発送させていただいております。2022年よりゴールドカードの情報を元に会報誌を発行しておりますのでお仏壇購入の方でゴールドカードに切替手続きがされていない方は店頭にて切替手続きをお願い申し上げます。



初盆小物のご案内

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

～枕米セット～ 初盆の故人様限定の特別な手土産です

01

米袋に戒名・施主名を記入します。

どなたのお供え物が把握できるように記入します。

02

お米1升をさらしの袋に詰めます。

一生食べ物に困ることのないように一升(1.5kg)詰めます。

03

米袋の入口を縫い、さらに米袋の頂点に5円玉を縫い付けます。

5円玉は三途の川の運賃(六文銭)。

お金に苦労しない様に御縁があつてまた帰れるようにと気持ちを込めて5円を縫い付けます。

04

扇子を添えます。

道中、暑さをしのげるように持たせてあげます。

05

わらじを添えます。

裸足では足が傷付くのでわらじで保護してあげます。

06

麻ヒモで結びます。

わらじの鼻緒が千切れた時に繫げるために

麻ヒモが必要です。※持ち手ではありません。



↑米袋三角

枕米セットを準備される方へ

弊社オリジナル 献米セット

をご紹介します。



田原産
コシヒカリ
一升(1.5kg)
柴田ファーム
さんのこだわり
栽培米です。

★5円玉弊社にて縫い付け致します

★お引渡し7月11日以降

美味しいお米を食べていただきたいと毎年多くの初盆を迎えるお客様からご用命いただいています。戒名・施主名等、筆書きさせていただきますので“戒名”をわかるようにしてご来店下さい。

～お供え物～

乾麺・線香・籠盛など(枕米セットと一緒に故人様へお供えします。)

お盆期間中お供えしますので日持ちするものがお薦めです。

※のし(短冊)には戒名・施主名を記入します。

菩提寺の施餓鬼棚へお供えする迄は、ご自宅の精霊棚に飾ります。



初盆の時の
お供え見本→

～松明(たいまつ)～

※菩提寺によっては数が異り、松明以外で対応する場合もあります。

初盆の方のみ108本追加します。(百八の煩惱を焼き払い清浄の心で新仏様をお迎えします)

お墓から我が家までの道のりを迷うことないように道しるべとします。

(現在は交通事情もあり、お墓でまとめて焚き上げます。)

迎え火の
順序

①墓前にて一束、松明を焚きます。

②玄関先で一束、松明を焚きます。

③その火を仏壇のろうそくに灯します。

送り火の
順序

①玄関先で一束、松明を焚きます。

②墓前で一束、松明を焚きます。



ほうろく皿→

～お初盆の返礼品～

お初盆のお供え物を戴いた場合は、その場で感謝の気持ち(燈籠下り)を渡します。

素麺・洗剤・タオル等、日持ちしてなおかつ残っても利用出来るものを選びましょう。

※事前に準備する為、数がつかめません。7月中旬には揃えておきましょう。

半返し感覚なので1,000円～1,500円が選ばれます。(過分に戴いた場合は別途用意しましょう)

熨斗の
書き方→

燈籠下り
〇家

東三河エリアの盆飾り

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

～精霊棚の飾り方～

毎年お飾りします。

01

白布をかける。

02

"まこも"を敷きます。

ご先祖様をお迎えする為の新畳なので毎年新調します。

03

五如来旗を吊るします。(施餓鬼会の後、お寺様から配布されます)

お盆期間中のご本尊様になります。

精霊棚の高い位置に吊るしましょう。

04

位牌を仏壇から出して棚に移動します。

向かって右が位が高い為、右側から初代様を並べます。

05

花立・火立・香炉も同様に移動させます。

大きな花瓶でお花をたくさん飾ってあげても喜ばれます。

06

供物をお供えします。(夏野菜・果物等お供えしましょう)

15日はお団子をお供えします。

お団子は帰られる際のお弁当になります。

07

牛馬を並べます。

馬は仏様を乗せて、牛は荷物持ちをしてくださいます。13日(戻って来られる時)は内側に、帰られる時は外側にむけて飾ります。

08

水の子(餓鬼飯)をお供えします。

蓮の葉の上に精米とナス(さいの目)・キュウリ(さいの目)を混ぜた物)

餓鬼は喉が細いので細かいさいの目にして用意します。

09

お膳に湯呑・皿をのせて精進料理をお供えします。

※お皿の枚数は決まっています。

(お食事は13日・14日・15日のみ差し上げます)

10

はし木を切って箸を用意します。

箸は毎度毎度、新しく準備します。



↑まこも



↑牛馬



↑お膳白皿セット



↑はし木



↑片口

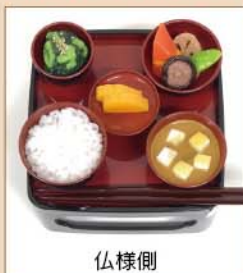
※お寺様が施餓鬼経をあげに見える時に追加される小物

①霊供膳(お盆用お膳・白皿・はし木は使いません)精進料理をお供えします。

②片口 水を入れ、ミソハギの葉を浮かべておきます。お清めに使用します。

～お霊供膳の並べ方～

お膳の並べ方はご寺院様、地域によって異なります。ご確認の上、配置ください。



仏様側



仏様側

平椀のふたが一番大きい

汁椀↓ 平椀↓

汁椀のふたは平椀と同じ
大きさですがより深さがある
ほうが汁椀になります

飯椀のふたが一番小さい

飯椀 メシワン

白米を盛ります。

汁椀 シルワン

ネギ(香りの強い食材)は抜きます。

平椀 ヒラワン

メインディッシュになります。

煮物3・5・7種にします。

坪椀 ツボワン

胡麻和え・豆(魔を減する)等

高皿 タカザラ

漬物ふた切れ盛ります。

※お箸(手前)は仏様に向けます。

※片付けの際はお椀・蓋、合わせて

9個揃っているか確認しましょう。

お盆飾り参考例

お盆飾りは宗派・菩提寺・地域によって異なります。当店のお飾りはあくまで参考です。

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～



お寺様からお経をいただく時のお盆飾り例

お作法の詳細は菩提寺様へご確認ください。



～切子提灯～

切子提灯は故人の寢床として、**お初盆の時だけ**用意させていただく、特別なお提灯です。

長い旅路お疲れ様でした。ゆっくり休んでください。
と思いを込めて準備します。

切子提灯の極楽鳥は金襴の中でお休みになっている
お精霊様を見守るために下向きに飾ります。

一度だけで納めてしまいますが、
金襴の生地は残して念珠袋等、
お年忌の返礼品として使われます。



～神道の方へ～

お作法の詳細は宮司様へご確認ください。

※お提灯は白色系が一般的です。



お作法

- ①お盆は祖霊とその子孫である家族が家に集まる時です。
- ②季節の物などお供えて祖霊をもてなし、近況などを奉告します。
- ③お供え物は水・米・酒・塩・餅・魚・野菜・果物などの生饌。
- ④故人が生前好んで食されていた調理された食材、常饌をお供えてください。

～門徒の方へ～

お作法の詳細はご院主様へご確認ください。



切子灯籠…門徒さんは切子灯籠を毎年飾ります。

目蓮尊者様のお母様が逆さ吊になっている姿を切子灯籠で表しています。

ご先祖様があって、今の自分が存在していることへの感謝の想い。いろんな方へのお慈悲の気持ちを忘れない為に飾ります。

お作法

- ①お盆前日までに仏壇の掃除・仏具のお磨きをします。
- ②お提灯・打敷を掛けます。
- ③供花に御餅(またはらくがん)をお供えます。※御餅は最高のご馳走になります。
- ④朱ろうそくを用意します。
- ⑤14.15日の両日は朝・夕にろうそくを点けてお焼香をしてお勤めします。



↑明治34年以來の大改修がなされ、令和5年に完成。
左手のスロープからは車椅子でも本堂に入れる優しい作り。



↑馬頭観音
煩惱や魔を伏せるために憤怒の相をして
私達を魔障から守っています。



↑旧庫裡の大黒柱で作成した百万遍念珠は
全長20メートルにも及びます。



↑毎月発行される「普仙寺だより」
令和6年の2月で第328号となります！

普仙寺様の成り立ちは天文7年（1538）に元は天台宗であったのを、
円覚眷惣和尚が再興して浄土宗に改めて開山されました。
以来、豊橋市西部のお念仏の中心として、毎月第2日曜日には「月並法要」
毎週土曜日の朝8時30分から9時はどなたでもお参りできる「土曜札拝」を
はじめ詠唱講や団参旅行等も開催し幅広くお念仏の教えを実践し教化活動に
取り組んでいらつしやいます。

また、お寺のホームページではご住職の研究や短歌本堂改修工事中のドローンで
使った映像が閲覧でき、SNSや毎月発行の「普仙寺だより」では催事や檀信徒
皆様の様子等が伝えられいつも楽しく拝見させて頂きます。

また昨年の本堂大改修の際の御仏像の修理や11月の落慶法要では弊社も微力
ながらお手伝いさせて頂きました。



↑本堂西側の十王堂は明るい空間
～十王堂とは～死後の世界をつかさどる十人
の王をまつたお堂です。

御寺院紹介

順雲山 普仙寺



かとう りょうこう
住職 加藤 良光

順雲山 普仙寺

住 〒441-8093 豊橋市牟呂中村町6-5

☎ 0532-31-7457

宗 浄土宗





↑弊社にて修復のご本尊様 慈覺大師作と伝えられる阿弥陀如仏三尊立像
(阿弥陀立像身丈3尺・両脇像身丈1尺6寸)
螺髪の大きさ、像奥の薄さ、衣の表現は平安後期頃の彫像に多く見られる特徴がありました。年数の重みを残した古色仕上げで施させていただきました。
全ての仏像に重みがあり普仙寺様の歴史を感じ取れました。



↑令和5年11月23日に行われた落慶法要並びに稚児行列
稚児行列に参列することでお釈迦様のご加護をいただき
無病息災で健康に育つと言われております。



↑弁財天
水の神様として農家の方の信仰が厚いですが今では財運や芸術、学問等多種多様なご利益があります。



↑金色の宮殿に安置された善光寺如来
日本最古の仏像と伝承される信州善光寺の本尊を模した一光三尊形式の阿弥陀如来像です。



↑善導大師(右)法然上人(左)座像
仏様になりかけた善導大師は下半身が金色の姿です。
法然上人は浄土宗の開祖(浄土宗を開かれた方)です。

172 424 142
〒172-0001 東京都文京区千駄木4-24-12
TEL 03-3822-1111 FAX 03-3822-1112
E-MAIL info@tanaka-butugu.com

Instagram icon
tanaka_butugu

弊社Instagramより落慶式での美しい所作の様子がご覧になれます。



↑法要の他に落語の寄席等が開催されたりします。

散華とは

蓮の花びらを撒くことで清浄の意味があり、
仏様をお迎えする準備という説。
あるいは仏様をお迎えする際に天空から花が降るという経説に由来。
撒かれた散華はお守りとして大切に保管したいものです。
通常の倍ほどのサイズに合わせ素敵なデザイン画の散華は
総本山知恩院の国宝御影堂落慶記念の素晴らしい散華でした。

↑散華を撒かれる所作

仏具お取り扱い説明書

素材について

木製品

ご本尊・御位牌等



ご本尊…桧・柘植等材質は様々です。

仏身・後背・台座とパーツが分かれており光背のホゾを台座の溝に差し込む形状になっており年数経過と共に、木が痩せて光背が傾くことがあります。年輪・節が有るのは木地の証です。

お位牌…木地の上に塗り・砥の粉・金箔が施されています。

何度も塗りを重ねたり金箔も1号箔から4号箔までランクは様々です。年数を経た漆は硬くなり、戒名追加彫込みの際、漆が取れてしまうことがあります。また、彫込み直後の戒名は漆の下の砥の粉が白く出ますので先代様の戒名と色目が異なります。戒名文字が茶色に変色しているのは、長年に渡りお勤めしていただいた証です。

金箔部分について

金箔は10000万分の1mm～1.2mmの極薄の状態です。箔押ししてある部分を拭くことで簡単に剥がれて下の漆(黒色)部分が出てしまいます。

真鍮仏具

花立・火立・前香炉等



(金メッキ・フッ素)



(色付仏具)

銅に亜鉛を加えたものをベースとし製造方法に応じて錫や鉛などを添加して使用します。

酸・アルカリの強い食品(果汁等)を長時間付着したままにしておいたり、それらの液体に浸したりしますと変色する場合があります。

手の油分やほこりなど表面に付着しますと変色する場合があります。

真鍮製品(加工無し)は酸化により色の変色がありますので何もしていなくても色が変わります。

そのため定期的なお磨きが必要です。

(金メッキ・フッ素・色付等加工された仏具はお磨き不要です。)

※長時間ご使用にならない場合は湿気を避けた冷暗所に保管します。

銅合金

おりん



銅を主用とした成分に**ケイ素**と**錫**を含むことで鳴りを作り出しています。様々な配合比率によって鳴りを調整しています。また、素手で触ったり、水滴がついている状態で放置すると緑青(ろくしょう)が生じやすくなります。

近年ではフッ素加工等コーティングされたおりんが主流となっていますが昔からのおりんは加工がされていないため、大半のおりんが黒くなります。黒いのも年数の証だと考え、音色を重視していただき大切にお使いください。

お手入れ方法

細筆の毛先をほぐして優しくなでるようにご本尊用として準備されると良いでしょう。水洗いは厳禁です。

空拭き・細筆で埃を落としてください。金箔の部分は触らず漆(黒色)部分を持つようにしましょう。

極力素手で触れない様にしてください。剥がれてしまった箇所は職人によって押し直し修復します。

磨き仕上げ(加工無し)の場合

①専用の液体(テガール)に数秒漬けて水ですすぐ。②溝に残った汚れは研磨剤の入った磨き粉(アルボン)を金ブラシにつけて研ぎ取る。③新聞紙でこすり仕上げ光沢をだす。

色付・金メッキ・フッ素(コーティング)の場合

柔らかな布で空拭きしてください。汚れが気になりましたら職人に出します。

予めフッ素・金メッキ等、加工された状態の場合は空拭きしてください。フッ素加工は5年程で剥がれる為、空拭きで落とせない場合は職人に磨き直し研磨依頼をしてください。

素材について

陶器 仏具

仏器・湯呑等



陶土と呼ばれる精製した粘土。
1100度～1300度と高い高温でも耐える耐久性。
衝撃に弱く割れやすい。
多孔質で密度が低いいため、吸収性があり何度も使用することで味わいが出てくる。

プラスチック 仏具

霊供膳・高月等

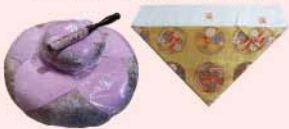


石油のもとである原油を加熱分解したナフサが主原料。
ある程度の耐久性や防水性があり熱を加えることがなければ形状も維持できます。

布製品

仏前布団・打敷

りん布団・空魚布団等



金襴は金を多く用いるため織物の中でも特に豪華なつくり。
ちりめんは表面が凸凹することでしわがよりにくくしなやかな風合いが特徴。
化繊は主に石油から人工的に作られた繊維。色褪せが早い。

お手入れ方法

水洗い後は水気を拭きとりま
す。誤って落として欠けてし
まった場合はいつでも新調
してください。

水洗い後は放置しても
大丈夫。
熱に弱いので食洗器は
不可。

水洗い・クリーニング等不可
のため買替をお勧めします。
打敷の場合は裏打ち直し
が可能です。柔らかい素材の
ため、鼠・ゴキブリ等に生地を
食べられることもあります。

ご使用上の注意事項

膳引き／家具調タイプのお仏壇の膳引(ぜんび)きは、ストッパーが付いていることが多いですが、従来型のお仏壇の膳引きは、いっばいに引くと抜け落ちる場合がございます。

経机／お仏壇の前に置く経机に手をついて立ち上がった時、踏み台の代わりにするような体重をかけますとお経机の足が折れて壊れてケガをする恐れがあります。

仏具敷きの役割

お仏壇に水気が付かないように、湯呑・仏器等は仏器膳を使用します。
花立・前香炉・火立の下には仏具敷きを使用して水気が付かないようにします。

(水に濡れた場合は速やかに水分を拭きとってください。
水に濡れてしまった仏具敷きは状態によっては買替をおすすめします。)
仏具敷きは防炎加工になっている為、お線香が倒れても火が広がらないように火災防止としても使用します。

湿気が多い環境では仏具敷きが湿気で水分を含み、水を使用しない状態でも真鍮仏具が変色することがあります。



仏具敷き



膳引き



経机

- 火立や前香炉は、ローソクやお線香に火を点けた状態で、持ち運ばないで下さい。ローソクやお線香が床などに落ち、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 火立や前香炉をお使いいただく場合、ローソクやお線香が消えてからも、しばらくの間、熱い場合があります。火傷をしないように、十分に冷めたことを確認した上でお持ちください。
- お線香を一度にたくさん焚かないでください。
お線香が倒れやすくなったり、前香炉が高温になるため火災の原因になります。
- 商品には、漆・塗料・溶剤を使用しているものがございます。
アレルギー体質の方はかぶれる場合がありますのでご注意ください。

※大切な仏具です。品質をご理解いただきお取り扱いにご注意ください。

注意

ローソクはお仏壇の大きさに合ったサイズをご使用ください。そしてお仏壇の戸障子や欄間、他の仏具などと十分な距離をあけてください。



田中仏具店グループに届けられた 会員様の声



I様 豊川市【八幡会員】

初めて応募します。いろいろな情報があり読んでいて知らない事ばかりです。
又、イベントも楽しく参加させて頂いてエコー会館のスタッフの方々の優しい接客が嬉しいです。

H様 蒲郡市【蒲郡店】

今年5月に主人が亡なり、色々な面で不安な事や、やらなければいけない事などあり、49日法要の前には
以前仏壇の洗いをやっていただき、その後の仏壇の掃除はほこりをはらう程度でした。
蒲郡の田中仏具店の山本さんとスタッフの方と2人で仏壇をていねいにきれいにしてくださいました。
本当に感謝しています。ありがとうございました。

K様 豊川市【八幡会員】

婦人公論連携企画・榊原郁恵さんインタビュー記事、良かったです。神棚のことも改めて知り、
神社の紹介も読みごたえがありました。また次を楽しみにしています。
葬儀のこと、仏壇のこと、初盆のときいろいろお世話になったこと今さらながら感謝しています。

Y様 豊川市【本店】

毎号興味深く、知らなかった事が理解出来て心の中のもやもやがスッキリする会報誌と感じております。
今まで発行された号もストックして事ある毎に見返しております。
常に貴社とつながっている安心感が大変心強いです。

I様 湖西市【湖西会員】

湖西エコー会館の大原さんはじめ、仏壇、墓石等いろいろ担当の方にお世話になりほっとしています。
仕事プラス人柄も加味していると思います。会報誌とともにもいい出会いです!!

次ページにも掲載していますのでご覧ください

○様 蒲郡市【蒲郡店】

おみがきするのも大変になってきたので先日、仏具のフッ素加工をしていただきました。
とてもきれいになって母もよこんでいます。ありがとうございました。

○様 豊川市【八幡会員】

急に葬儀をする事になり、エコー会館でお世話になりました。
担当いただいた方はこちら側に寄りそってプラン内容を提案いただき感謝しております。
色々お世話になりありがとうございました。

K様 蒲郡市【蒲郡店】

今年は盆提灯を求めに蒲郡店に伺った。初盆の家の様子や好みなど聞いて頂き、
こちらの要望(値段や好み)も丁寧に聞いてくださり、あれこれ吟味して頂いた。
私も納得できる品を求める事ができて安堵した。
初盆の家の人にはカタログで見えて欲しかった提灯だったと大変喜んで頂けた。
店長様、丁寧に親切な接客をありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

N様 豊橋市【岩田会員】

母の葬儀にお世話になりすでに13回忌もすぎました。
当時担当していただいた女性職員の方の親切は今でも忘れません。
いろいろなアドバイスにも助かりました。最後の見送りが悔いなくできました。

K様 豊橋市【本店】

昨年9月に父が亡くなってから様々なことを教えて頂きありがたく思っています。いつも「親切、丁寧」です！

K様 豊橋市【本店】

西川大悟様にとても細かい所までお心遣いを頂いておりますので、今は何も御座いません。

K様 豊川市【本店】

19年前の義父の葬儀から事あるごとにお店を利用しています。
中でも5年前はためらいながら愛犬の仏壇の相談をしましたが丁寧な対応で購入させていただきました。
ペットロスにならずにすみました。これからもよろしくお願いします。

S様 豊橋市【岩田会員】

バスツアーに参加させて頂き、楽しい一日を過ごさせて頂きとても思い出に残りました。
食事もおいしく友達もでき皆様も喜んでいたかと思います。有りがとうございました。

N様 新城市【本店】

毎朝家族の安寧を報告、気持ち良い一日を過ごしております。
父の33回忌、母の23回忌も終えまして私共もいよいよかなという思いでおります。
お邪魔する度に思うことですが奥様の笑顔、話し方に気持ちがなごみます。

H様 豊橋市【岩田会員】

義父、実母、義母と三度お世話になりました。その時期に合ったお葬儀が出来大変良かったです。
スタッフさんの気遣いに感謝しています。

Y様 豊橋市【岩田会員】

先日、豊川市の田中仏具店さんに仏具を購入しに行きました。
店員さんにいろいろと質問ばかりでしたが、店員さんのきめ細かい対応に感謝しております。

Y様 湖西市【湖西会員】

いただいた「想い」誌はいつも仏壇の中にしまっており、同居する長女(相続人)にもしもの時は読むように言っております。
秋冬号の「納骨のあれこれ」は知っているつもりでも「あ〜そうなんだ」と思うことがあり参考になりました。

M様 浜松市【湖西会員】

叔母の葬儀でお世話になりました。
喪主の父も亡くなり、会報誌が届くと生前の二人の事を思い出します。会報は大変内容が勉強になります。

O様 豊川市【八幡会員】

15年前に主人が亡くなった際は、親切に教えて頂き大変助かりました。
ていねいな対応をして下さったこと感謝しております。ありがとうございました。
今回の神棚のまつり方とても参考になりました。

S様 豊橋市【本店】

お墓の建替には最初から最後まで親切に御指導と又お値打ちに仕上げて頂き大変助かりました。
有難度う御座居ました。

N様 豊橋市【岩田会員】

昨年、今年と2回岩田エコー会館でお世話になりました。
とても親しみやすくおだやかに行えました。ありがとうございます。

Y様 蒲郡市【蒲郡店】

15年前に山本さんをお願いして仏壇を購入させて頂きました。オリン、空魚とてもよい音色です。

T様 豊橋市【本店】

早くも1年になりますが、毎日お仏壇に向かいお参りでき、良い仏壇を勤めて頂き感謝しています。
お店選びの大事さを実感しています。感謝感謝です。



お客様へ

毎回、会報誌に目を通して頂き心より感謝申し上げます。
前回の神式特集では何気にすませていたことがよく分かり勉強になりました。など多くの激励のお言葉を頂き私共も胸にこみ上げる思いでいっぱいです。
ありがとうございました。
毎年恒例のお盆ですが、お盆を迎える度にご先祖様、故人様を思い出していただけることが大切でその温かい想いはご先祖様、故人様にしっかり伝わると感じております。会報誌がご先祖様の供養に少しでも役立てていただけるように想いを込めて発行致します。
お困りことがありましたら、遠慮なくお葉書に記入して投函してください!!
沢山ののご応募お待ちしております!!(^ ^)!



↑当社に届けられた
会員様の声



Instagramでの
当選者発表の様子

tanaka_butugu

